

数学

立命館大学 全学統一方式 [文系] (2/2実施)

<全体分析>

試験時間

80 分

解答問題数

3 題

解答形式

I・IIは空所補充形式、IIIは記述形式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

読解力が問われる長文問題が出題されている。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I				
[1]	図形と計量	数I	四面体の体積を求める	やや易
[2]	整数の性質 数列	数A 数B	3進法、等差数列の和	やや易
[3]	数と式、2次関数	数I	絶対値つき2次関数の最小値	標準
II	図形と式	数II	領域と最大・最小	標準
III	確率 数列	数A 数B	確率漸化式	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

Iの小問集合は難易度はさほど高くないが作業量が多いので典型問題を多く解き、素早く正確に計算できるようにしておこう。

IIのような日常のテーマに対して数学的モデルを設定して考えさせる問題は題意を把握する読解力が問われる。長文問題にも積極的に取り組み自分で問題を分析する力を養っておこう。